globalforce.link 通信　[2016.3.23.]

■□■

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0026 号）

■□■

2016.3.23.

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・globalforce(高度外国人)に関連する人財活用のエッセンス、採用、教育　・

・本音トーク、法令関連にいたるまで、さまざまな情報を発信します。　・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

皆さま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

先週の木曜日(17 日）の勉強会には、多くの企業の方々にご参加頂きました。

ありがとうございます。今回は『Buddy Care の極意』と題して、皆さまと学ば

せて頂きました。

ご参加頂けなかった企業さま向けに、また News Letter を作成する予定ですの

で、楽しみにしていてください。

日本企業が、”The Japanese company”ではなく”The Global company in JAPAN”

という意識になり、世界中にいる優秀な gloalforce(高度外国人財)が活躍でき

るようになるまで、これからも企業のご支援をしてまいりたいと考えています。

よろしくお願いします。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

■トピックス■

1.今週のフォーカス「教育担当者」

2.勉強会・セミナー等のご案内

3.摩訶珍(まかちん)編集後記

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

┌──┐

│１│今週のフォーカス「教育担当者」

└──┘

外国人留学生を雇用して、globalforce(高度外国人財)として企業

で活躍してもらうのにとても重要な『要』は何だと思いますか？

それは彼らの「教育担当者」です。

「教育担当者」のストレスはとても大きい。

とある企業の教育担当者は、ストレスで体調を崩してしまいました。

想像してみて下さい。優秀かもしれませんが、100％日本語を理解し

ていない連中を教育する大変さを。さらに、彼らは自分の仕事のできは別にして、直ぐに自分が正当に扱われていないとクレームさえしてきます。
「なんで私の方が彼より給料が少ないのですか？」なんて言われたらどうします？(^^;)
「仕事もまともにできていないのに….」と、わなわなする怒りさえ感じるのではないでしょうか？(f^^;)
でも、考えてみて下さい。多くの日本企業が海外進出しています。海外で工場を立ち上げ、彼らに教育をしている会社は山ほどあります。そして、きちんと人事管理ができている。それと何が違うのでしょう？
基本的には同じはずです。違うのは、教育担当者の受け取り方です。日本にいる私たちは、どうしても globalforce を「日本社会に来た異端」という見方をしてしまいがちです。一方、海外進出するとき私たちは「異国の地に単身乗り込む」的なイメージを持ちます。そのため、問題が出てくるのは当たり前、それを前提に解決していくという気持ちを強く持っている。
教育担当者には、その意識変革が必要なのですが、早々簡単にできるものではありません。globalforce を企業で活躍させるために、まず教育担当者への教育を実施して下さい。そして、実際に教育担当者になった後には、それなりのケアーとインセンティブを会社は提供しなくてはなりません。
間接的ではありますが、ダイバーシティーを企業の活力として使えるようになるための第一歩です。

┌──┐
│２│勉強会・セミナー等のご案内　[事前申し込み要]
└──┘

来月のROMAにご参加頂ける企業を募集しております。
現在、日本中から約 40 名の応募が届いてております。
ぜひ、この機会に優秀な留学生のワークショップの様子をご覧になって、御社の未来の人財としてお考えになって頂ければと思います。
また今回は、トライアル「W企画」として、
横浜国立大学　服部泰宏准教授ならびに、フェニックス労務・ビザ総合事務所　社会保険労務士・行政書士　菊地良夫氏に皆様にお役に立つセミナーも開催致します。
4 月 22 日(金)〜23 日(土)　場所：上郷森の家

【詳細】http://goo.gl/uMSBk7

多くの企業の方々の、ご参加お待ちしております。(^^)

┌──┐

│３│摩訶珍(まかちん)編集後記

└──┘

会社のすぐ近くにあった、コンビニが先月末に閉店しました。

売上が下がってきたのと、家族経営だと体調的に辛くなってきた

からだそうです。

ちょっと離れた、歩道橋を渡ったところにも他のコンビニがあ

るのですが、そこまで行くのが意外に面倒で行かずにおります。

近くにコンビニがないのが、こんなに不便なものだとは思いま

せんでしたが、その反面『小腹がすいた』ときに甘いものを買い

に行く習慣がなくなり、意外に体調がよく、その上お財布にも良

いことが分かってきました。

人間って、本当に贅沢な生き物ですね。(^^;)

△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△

異文化コミュニケーション研究所(R)のミッション

『日本を、世界中の優秀な人財が活躍する国にする』

～ 多様性のある globalforce(高度外国人)を活躍へ導く ～

△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△

■□発行済のグローバルフォース・ドット・リンク通信は

下記でご覧になれます□■

http://globalforce.link/?page_id=474

いつもありがとうございます。

┘┘┘┘┘異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)

┘┘┘┘ http://www.globalforce.link

┘┘┘ 横浜市神奈川区青木町 3-15 SS ビル 201 号室

┘┘ Tel:045-307-8248(代) FAX：045-461-1577

┘ 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

（当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。）